

令和3年度加賀市当初予算 主要事業の概要一覧

～ コロナ禍を乗り越えスマートシティへ～

第2次加賀市総合計画（平成29年度～令和8年度）では、「将来への備え」と「成長戦略」の2つを柱とし、7つの基本方針に基づき施策を展開しています。

この一覧は、令和3年度当初予算における重要な事業を、次の区分でまとめたものです。

【成長戦略】

- （基本方針1）安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり
- （基本方針2）観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり
- （基本方針3）ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり
- （基本方針6）豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり

【将来への備え】

- （基本方針1）安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり
- （基本方針4）いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり
- （基本方針5）みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり
- （基本方針6）豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり
- （基本方針7）将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり

※ 新型コロナウイルス感染症対策事業は、事業名の上段に新型コロナウイルス感染症対策事業である旨の表示があります。
※（POO）は別冊「予算説明会資料」の説明箇所を表します。

成長戦略

基本方針1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり

1 プログラミング教育推進事業 8,000千円 (P91)

プログラミク的思考を含む情報活用能力を確実に育てていくため、各教科の特性に応じて、適切な環境の中で学習を進めます。

2 STEAM教育推進事業 14,171千円 (P92)

児童生徒が社会にある課題を発見し、解決に向け、思考力や判断力を育成するとともに、課題解決に向けた行動力を身につけます。

3 (拡充) 小中学校ICT整備事業 154,351千円 (P93)

ICT活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境を整備し、現在の情報化社会に対応できる子どもたちを育成します。

4 加賀温泉郷マラソン開催助成事業 8,542千円

コロナ禍での開催のため令和3年度は専用アプリを活用し、オンラインで実施します。

5 加賀温泉郷寛平ナイトマラソン開催助成事業 7,620千円

間寛平氏がプロデュースするナイトマラソン大会を山中温泉及び東谷地区を中心に開催します。

6 海外オリンピック選手事前合宿受入事業 21,034千円

東京2020オリンピックの事前合宿地として、ポルトガル（柔道）及び台湾（空手）選手の合宿受け入れを行います。

7 東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー

開催事業 7,570千円

東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーの石川県の出発地である加賀市において、市内小学校6年生による謡を披露します。

基本方針2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり

観光振興推進事業

8 加賀温泉郷誘客促進事業 18,870千円

都市圏などでのPR、MICE誘致促進、地域の魅力を活かし、回遊性を高める観光企画事業などを展開し、加賀温泉郷への誘客を促進します。

9 三温泉観光誘客助成事業 39,000千円

山代・山中・片山津の三温泉の魅力づくりや情報発信、鉱泉源施設の維持管理に対して助成を行います。

10 観光地ブランド化推進助成事業 24,000千円

新たな観光資源の掘り起こしや、地域の個性を生かした観光地づくりなどのブランド化のための事業に対して、助成を行います。

柴山瀧遊歩観光ルートプロジェクト

11 柴山瀧周辺整備事業 97,500千円

柴山瀧の湖畔と温泉街をつなぎ眺望景観を楽しめるまちづくりを進めるため、柴山瀧周辺の湖岸遊歩道の整備を行います。

12 実盛塚園地再整備事業 3,200千円

源平合戦ゆかりの地として手塚山公園と関連性が高い実盛塚園地の魅力向上を図る整備を行います。

観光宣伝事業

13 都市圏戦略プロモーション事業 10,000千円 (P72)

誘客効果のある新しい滞在コンテンツを企画し戦略的な事業を展開することで、都市圏から加賀温泉郷への誘客促進を図ります。

14 旅行商品企画販売促進PR事業 17,600千円 (P72)

旅行業者へのトップセールスの実施、送客機関とのタイアップによる旅行商品の企画販売等により、加賀温泉郷への誘客促進を図ります。

15 加賀温泉郷情報発信事業 12,000千円 (P73)

インターネットやSNSによるデジタル配信、各種メディア媒体による情報発信などにより、加賀温泉郷の観光情報を広く発信し、誘客促進を図ります。

16 (新規) 加賀ブランディング情報発信事業 7,000千円 (P73)

大手出版社、大手メーカー等とのタイアップによる新たなブランドコンテンツを企画開発し、有名芸能人を活用した情報発信を行うことで、加賀温泉郷の魅力発信と誘客促進を図ります。

17 東京2024加賀プロジェクト事業 7,000千円 (P74)

北陸新幹線延伸開業を見据えた話題性の高いPR動画を制作配信し、新しい加賀温泉駅開業に向けた機運の醸成と加賀温泉郷の知名度・認知度の向上を図ります。

成長戦略

基本方針3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり

18（拡充）スマートシティ推進事業 23,500千円 (P22)

地域課題を先進技術とDX（デジタルトランスフォーメーション。デジタル技術による業務やビジネスの変革）により解決し、あらゆる都市機能やサービスを効率化・高度化させ、新たな価値を創出するため「スマートシティ加賀」を推進します。

デジタル自治体プラットフォーム事業

19（新規）データ連携基盤活用等事業 31,929千円 (P25)

様々なデータをデータ連携基盤で連携させることにより各種デジタルサービスを一気通貫で住民に提供し、QOL（クオリティ・オブ・ライフ。生活の質）向上を目指します。

20（新規）仮想加賀市民（e-Residency）基盤システム構築事業 19,000千円 (P26)

多拠点居住者などを「仮想加賀市民」と位置づけ、さまざまな分野において市民に準じた行政サービスを受受できる仕組みをつくりま

21 公共施設混雑状況可視化事業 1,056千円 (P27)

市内公共施設の混雑状況を可視化し、そのデータを取得・分析し、各方面のデータと連携することにより、施設管理や運営について最適な方法を検討します。

22（新規）都市デジタルツイン構築事業 10,000千円 (P28)

都市の全体最適のため、土地、交通網、エネルギー網、建物など現在の状況をデータとして捉え、これらデータを活用して地域課題の解決を目指します。

23（新規）オープンデータ化調査等検討事業

10,000千円 (P29)

加賀市が保有する台帳のデジタル化及びオープンデータ化に向けての調査及び検討を行います。

24 業務効率化に向けたRPA導入事業 4,196千円 (P30)

「AIや機械学習等を含む認知技術を活用した業務自動化の取組み」であるRPAを導入することで、IoT技術を活用した業務の効率化を図ります。

25（新規）デジタルデバイス普及促進事業 10,440千円 (P31)

スマートシティにおけるデジタル化の恩恵を市内全域に浸透させるため、デジタルデバイス（スマートフォン）を市民一人ひとりが持ち普及させることにより、世代間の情報格差を解消します。

26（新規）共同研究大学との実証事業 4,000千円 (P32)

社会的な課題の解決を目指し、加賀市における先端技術の普及とイノベーションを誘発するために、有望な新技術の実証を通じ、そのあり方を研究します。

成長戦略

基本方針3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり

デジタル人材育成事業

27（新規）インターネット環境強化整備事業 2,978千円 (P36)

イノベーションセンターに高速大容量のインターネット環境を整え、都市圏と同等の仕事ができるようにすることで、企業や起業家を誘致し、産業の集積を図ります。

28（拡充）高度人材育成事業 12,000千円 (P37)

市民や市内企業を対象とした、先端技術に関する講習やイベントを開催し、先端技術に関する理解や知識を深め、先端技術を活用できる人材を育てます。

29（拡充）人材育成の拠点整備事業（スタートアップ支援） 3,112千円 (P38)

イノベーションセンターに入居（入居予定）の企業に対し、経営相談や事業立上げ支援を行い、新産業の定着・創出を図ります。

30 KAGAものづくりラボ運営事業 9,000千円 (P39)

市内企業や市民が身近な場所で3Dプリンタやレーザー加工機等の工作機械を利用できる場を提供することで、新たな製品やサービスの開発を促し、新たな産業創出を図ります。

35（新規）産業振興行動計画策定事業 4,865千円 (P80)

専門家や市内企業代表者等からなる計画策定委員会を設置し、令和4年度からの「第2次加賀市産業振興行動計画」を策定します。

31（拡充）地域課題解決実証事業 45,000千円 (P40)

本市を実証フィールドとして提供し、遠隔ロボット（アバター）や5G、デジタルツイン、エアモビリティ（ドローンなど）といった先端技術を活用した実証事業を行い、地域課題の解決を図ります。

32（拡充）エアモビリティ等活用事業 20,792千円 (P41)

ドローンを自動操縦により安全に飛行させるための環境整備として、市内生活圏全域の3D地図を作成することで、エアモビリティ（ドローンなど）の新産業ビジネスの創出を図ります。

33（新規）（仮称）デジタルカレッジ実現可能性調査事業 3,000千円 (P42)

加賀市が目指す「スマートシティ」の原動力となるプレイヤーとして、「クリエイティブ・クラス（価値を新しく作り出す人）」や「スマートシチズン」の育成や集積を図る「（仮称）デジタルカレッジ」の開校を目指し調査します。

34 コンピュータクラブハウス加賀運営事業 20,693千円 (P43)

子どもたちがテクノロジーに触れ、探求することをおして、先端技術を活用できる人材の育成及び学校では学べないキャリア教育の推進と充実を図ります。

36 企業誘致推進事業 7,800千円

「片山津IC産業団地」をはじめとする市内への企業誘致活動を行うとともに、企業が進出する際の候補地の調査や企業誘致イベントへの出展、参加を行います。

成長戦略

基本方針3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり

商業地域活性化事業

37 まちなか店舗立地支援事業 8,000千円 (P79)
商店街等において商業店舗の新規開店又は既存店舗の改装を行う方に、工事費や設備費等の助成を行うことで、商店街等の新規出店、誘客力の向上を図ります。

38 温泉街出店促進モデル事業 5,000千円 (P79)
温泉街の活性化を図るため、指定区域における新規出店について重点的に支援を行う実証事業を片山津温泉にて実施します。

新型コロナ経済対策

39 (新規) 山中漆器DX推進事業助成 2,000千円 (P16)
山中漆器連合協同組合が山中漆器の魅力を発信するため立ち上げたオンラインサイトを継続的に活用するため、デジタル人材の育成やオンラインサイトの機能強化などを支援します。

40 山中伝統漆器後継者育成事業 2,960千円
山中漆器の伝統技術を習得しようとする者に対し、伝統技術修得のための経費を助成することで、山中漆器への定着と伝統工芸従事者の自立を支援します。

41 九谷焼後継者育成事業 900千円
九谷焼の伝統技術を習得しようとする者に対し、伝統技術習得のための経費を助成することで、九谷焼産業への定着と伝統工芸従事者の自立を支援します。

鳥獣被害対策推進事業

42 イノシシ被害対策事業 8,585千円 (P76)
イノシシによる農作物等の被害防止を図るため、イノシシ被害対策協議会が実施する侵入防止柵の購入、捕獲活動を支援します。

43 (新規) ツキノワグマ生息環境把握調査事業 1,800千円 (P76)
クマの生息地の自然環境を調査し、クマが定着しにくい環境整備を図ります。

44 (新規) ツキノワグマ出没防止対策事業 4,210千円 (P76)
市街地でのクマとの遭遇機会を減らすために、クマを誘引する柿など木の実を町内会が実施する除去活動などを支援します。

45 (新規) ツキノワグマ出没確認システム導入事業 1,293千円 (P77)
緊急連絡用携帯電話等に画像を送信するシステムを導入し、市民への注意喚起情報の迅速な提供や、警察、市、猟友会による警備体制の早期構築を図ります。

46 (新規) ツキノワグマ捜索・捕獲体制整備事業 207千円 (P77)
捜索・捕獲の現場にあたる職員の安全装備を整備します。

47 (新規) スマート農機導入支援事業 200千円
JA加賀の特別栽培米「加賀ほまれ（加賀市産コシヒカリ）」の圃場に自動給水管理システムを設置し、水管理の自動化・最適化を行う取組を支援します。

基本方針6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり

地球温暖化対策推進事業

48 (拡充) 住宅用太陽光発電・蓄電池設置助成事業 3,700千円 (P82)
住宅用太陽光発電及び蓄電池設置費用の一部を助成することで、再生可能エネルギーの普及促進を図り、地球温暖化防止の推進に努めます。

49 加賀市版RE100推進事業 866千円 (P82)
再生可能エネルギーの活用による脱炭素社会と地域内経済循環を推進するため、市内の団体・事業者・市民が一体となって「加賀市版RE100」の実現に取り組みます。

将来への備え

基本方針1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり

かがっこ応援プロジェクト2021

新型コロナ生活対策

50 (拡充) 多子世帯放課後児童クラブ利用助成事業 42,017千円 (P60)

放課後児童クラブ利用料助成の範囲を第2子(小学校1年生から3年生まで、所得制限なし)に拡充し、子育て世代の負担軽減を図ります。

51 (拡充) ファミリーサポートセンター事業 5,388千円 (P60)

産前・産後の支援の強化と多胎児家庭の身体的、精神的、経済的な負担軽減を図ります。

52 (拡充) 保育園等給食費無料化事業 37,238千円 (P61)

保育園等に対し、保護者が実費徴収として支払うべき給食費の副食費相当額を助成することで、子育て世代の負担軽減を図ります。

53 特別養子縁組支援事業 1,000千円 (P61)

特別養子縁組にかかる養親の費用負担を軽減することにより特別養子縁組制度を推進し、何らかの理由で生みの親が育てられない子どもの福祉の増進を図ります。

新型コロナ生活対策

54 (新規) 第3子以降誕生祝金給付事業 21,000千円 (P62)

多子世帯のサポートと、将来の人口増加を期待して、第3子からの出産にお祝い金30万円を支給します。

55 (新規) 私立保育園等ICT化推進事業 3,750千円 (P62)

業務のICT化を行い、保育園等における保護者の利便性向上と保育士の業務負担の軽減及び勤務環境の改善を図ります。

56 私立保育園等保育環境改善等事業 6,500千円 (P63)

保育園等において、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、消毒等に必要となる経費を補助します。

57 (新規) 要保護児童等相談支援強化事業 214千円 (P63)

ICT機器等の活用で要保護児童等の支援を円滑に行い、支援が必要な家庭に訪問を通じて育児用品を配布し、支援を受け入れやすい体制を整えます。

新型コロナ生活対策

58 (拡充) 多子世帯等児童生徒給食費助成事業 121,446千円 (P64)

給食費の助成の範囲を18歳以下の児童のいる世帯の第2子(所得制限なし)に拡充し、子育て世代の負担軽減を図ります。

基本方針4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり

KAGA健食健歩プロジェクト(国保特別会計を含む。)

59 健康のまちづくり推進事業 441千円 (P68)

健康のまちづくりを推進します。

60 運動による健康づくり推進事業 834千円 (P68)

運動習慣を持つ市民の増加を目指します。

61 KAGAタニタ健康プログラム事業 10,405千円 (P69)

市民が運動習慣や食生活改善を行うことで健康管理を推進するための基盤整備を図ります。

62 KAGA健幸ポイント事業 1,173千円 (P69)

日々の健康づくりにインセンティブを付与することで、健康づくりの習慣・定着化を目指します。

63 ノルディックウォーキング教室開催事業 36千円 (P70)

ノルディックウォーキングの普及とスポーツを通じた健康づくりを推進します。

将来への備え

基本方針4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり

新型コロナ感染拡大防止対策

64 (新規) 新型コロナウイルス感染症の検査体制整備事業 6,000千円 (P15)

感染の不安を抱えている方や市内の高齢者・障がい者施設に新たに入所する方を対象に、市独自のPCR検査体制を整備し、不安の解消と陽性者の早期発見を図ります。

65 医師招へい推進策事業 17,408千円

関連大学との連携を強化し、研修医及び医学部在学生の受け入れ体制の充実や、病院の魅力を向上することで、加賀市医療センターへの医師招へいを推進します。

新型コロナ感染拡大防止対策

66 (新規) 新型コロナウイルス感染症応援職員派遣支援事業 5,666千円 (P13) (障がい者・高齢者施設)

障がい者・高齢者施設で新型コロナウイルス感染症が発生した場合、他法人から当該法人への応援職員の派遣を円滑に行います。

67 スマートインクルージョン推進事業 3,800千円 (P66)

AIやIoT等の最新技術を活用し、障がいのある人のサポートと社会参画を進め、障がいの有無にかかわらず「あたりまえの生活」ができる地域共生社会の実現を図ります。

基本方針5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり

移住・定住促進アクション

68 地域おこし協力隊受入推進事業 7,840千円 (P49)

総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、首都圏から移住して様々な地域振興に資する活動を行う人を受け入れます。

69 (新規) 移住者自動車運転免許取得助成事業 250千円 (P49)

転入者の自動車運転免許証の取得に係る費用の一部を助成することで、移住のハードルを下げ、移住者の増加を図ります。

70 (拡充) 空き家バンク事業 4,759千円 (P50)

町内会などに呼びかけ登録物件数を増やし、住みやすい環境整備を支援することで、より多くの利用希望者とのマッチングを図ります。

71 (新規) 市内駅等活性化事業 3,000千円 (P51)

大聖寺駅・動橋駅・道の駅(山中温泉)を基軸に、周辺地域の活性化を目的とする活用調査を実施します。

72 (新規) 大聖寺駅待合室管理 434千円 (P51)

現在17時30分で施錠される大聖寺駅の待合室の開室時間を延長し、市内の高校通学者や通勤者に対するの利便性向上を図ります。

73 ローカルベンチャー育成事業 3,594千円 (P52)

移住者による地域資源等を活用した創業を目指し、市内への新しい流れを生み出します。

74 (拡充) 移住住宅取得助成事業・ 若年層定住住宅取得助成事業 64,541千円 (P53)

移住者や若年層・ファミリー層を対象に一戸建ての住宅取得を支援することで、市内での移住・定住を促進します。

75 (新規) ワークेशन・テレワーク促進事業 16,000千円 (P54)

温泉旅館での滞在型のワークेशनを実施し、市内温泉旅館の利用促進にも寄与しながら、関係人口の創出・拡大や移住促進を図ります。

76 (新規) 空き家を活用した住宅整備事業 17,290千円 (P55)

空き家を整備して中長期的に滞在できる環境を整えることで、定住を促します。

77 加賀市定住促進事業 8,876千円 (P56)

移住に関するワンストップ窓口の設置、お試し居住の実施、移住希望者への情報発信を行い、本市への新しい人の流れをつくります。

将来への備え

基本方針5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり

78 (拡充) 高校魅力化事業 27,624千円 (P90)

市内高校や地域と連携し、高校魅力化事業を行うことにより、市内中学生の市内高校への進学率を上げ、地域の活性化や市全体の教育環境の推進を図ります。

防災力の強化事業

79 防災備蓄倉庫備蓄資機材等購入事業 8,297千円 (P18)

災害時における避難者に対する食料等や、拠点避難所に必要な資機材を整備し、災害時における迅速かつ柔軟な避難所運営体制を構築します。

新型コロナ感染拡大防止対策

80 (拡充) 新型コロナウイルス感染予防用品購入事業 5,835千円 (P19)

新型コロナウイルスの感染拡大に備え、必要な感染予防品を備蓄します。

新型コロナ感染拡大防止対策

81 (新規) 避難所リアルタイム混雑状況発信事業 2,200千円 (P19)

避難所の開設・混雑状況配信サービスで、町民会館や旅館等を臨時避難所として開設する場合に、臨時避難所として表す機能を整備します。

82 防災緊急情報伝達システム(防災行政無線)整備事業 163,177千円 (P20)

市内全域において一斉に緊急情報を伝達する防災行政無線の戸別受信機を令和5年度までに順次整備します。

消防車両整備事業

83 はしご車分解整備事業(オーバーホール) 34,100千円 (P89)

はしご車の分解整備(オーバーホール)を実施することで、活動中の重大事故を未然に防ぎ、安全確実な消防力の強化を図ります。

84 山中第2分団車整備事業 17,644千円 (P89)

消防団の老朽化した消防ポンプ自動車を更新することにより、消防力及び災害対応力の充実強化を図り、市民の安全安心を確保します。

空家等対策推進事業

85 応急措置及び行政代執行による空家解体除去等事業 5,000千円 (P84)

特定空家等に認定され命令に従わない場合は行政代執行を行うほか、緊急的な対応が必要な空家等については応急措置を実施します。

86 (拡充) 危険空家等解体助成事業 6,000千円 (P85)

危険な状態である空家等の解体を促進するため解体費の一部を助成します。

87 (新規) 空家等対策実態調査事業 8,000千円 (P85)

市内全ての空家等の状況把握を行うため実態調査を実施します。

将来への備え

基本方針6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり

88 (拡充) 歴史的風致維持向上施設整備事業 964千円

国の歴史的風致維持向上計画の認定を受け、大聖寺地区を重点区域と定め、文化財の価値を高めながら総合的な整備を図り地域活性化につなげます。

89 旧新家住宅整備事業 4,600千円

市指定文化財「旧新家住宅」の文化施設としての開館に向け備品購入等を行い、地域の文化の発信や魅力向上に役立つ場所として活用を図ります。

90 自然・文化遺産保存調査事業 6,500千円

令和2年11月に重要文化的景観選定の答申が出された加賀海岸地域の保存活用を行います。

91 橋梁長寿命化対策事業 269,800千円

橋梁の状況を把握し損傷を早期に発見することで橋梁を常に良好な状況に保ち、点検結果で得られた情報を蓄積することでより効率的な維持管理を行います。

92 山中温泉地区都市再生整備計画事業 101,450千円

山中温泉街中心部の菊の湯周辺の賑わい拠点と回遊ルートの整備により、温泉街の魅力向上を図ります。

93 加賀温泉駅周辺施設整備事業 557,190千円 (P86)

北陸新幹線の金沢・敦賀間開業に向け、加賀温泉駅及び駅前広場を観光客のお出迎えの場、市民の交流の場として整備し駅周辺の賑わいを創出します。

加賀温泉駅地下自由通路改修工事委託 (213,686千円)

加賀温泉駅前広場歩行支援施設整備 (64,295千円)

加賀温泉駅前広場整備 (146,300千円)

加賀温泉駅前広場駐車場整備 (59,858千円)

その他事業 (73,051千円) ※()内は内数

94 (拡充) MaaS(マース)推進事業 28,028千円 (P23)

MaaSアプリの導入と事業者等の利用環境の整備を進め、システム面から公共交通を使いやすくします。

95 汚水管渠整備事業 265,959千円

大聖寺川処理区(作見町・白望台)の下水道を整備します。

96 (仮称) 山代温泉広場整備事業 109,700千円 (P87)

九谷広場や山代総湯周辺を観光客等が回遊する拠点のひとつとして公園を整備し、人々が集う場と地域の活力を創出します。

基本方針7. 将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり

97 (拡充) シティプロモーション推進事業 28,523千円 (P21)

加賀市の魅力を市内外に伝え、住民の流出を防ぎ、市外からの移住を促進することを目的に広告媒体を利用したPRを展開します。子育て支援・IT教育の充実を市民及び近隣自治体の住民に伝えます。

公共施設マネジメント

98 (新規) 行政サービスセンター整備・運営事業

27,558千円 (P46)

加賀温泉周辺の大型商業施設に加賀市行政サービスセンターを設置し、市民に対する行政サービスの向上につなげます。

99 (新規) 旧山中温泉支所庁舎解体・駐車場整備事業

136,000千円 (P47)

山中庁舎を解体し、跡地を駐車場として再整備することで、菊の湯利用者や観光客の利便性を高め、温泉街の回遊性の向上を図ります。

100 (新規) 錦城小学校スクールバス購入事業 7,000千円 (P47)

令和4年4月1日の三木小学校統合における児童の通学の安全確保を図るため、スクールバスを購入します。